



※御前峰山頂と奥宮

# 「神宿る山」 白山信仰

## 三馬場(さんばんば)と 禅定道(ぜんじょうどう)

白山の開山(かいざん)と白山信仰の広がり

### 白山神社は日本で一番多い神社です

白山は、泰澄大師(たいちょうたいし)が717年に開いたと伝えられています。白山は山々が連なっていない独立した山で、周りに高い山がないため、遠く名古屋や京都から仰ぎ見ることができ、古代から都の人々に知られ、崇められてきました。

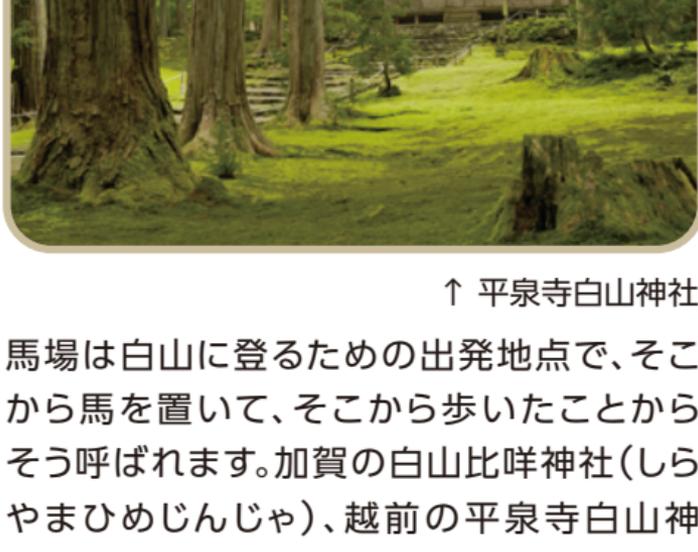
白山信仰がいつごろ始まったのかはよくわかりませんが、冬に多くの雪が降る白山は豊富な水の源であり、海からの目印になるなど、水神様や海の守護神でありました。現在では、北は青森県、南は鹿児島県に至るまで、全国で白山神社は約3,000社もあります。

### 「三馬場」と「禅定道」

#### 馬場(ばんば)とは？



↑ 白山比咩神社



↑ 平泉寺白山神社

馬場は白山に登るための出発地点で、そこから馬を置いて、そこから歩いたことからそう呼ばれます。加賀の白山比咩神社(しらやまひめじんじゃ)、越前の平泉寺白山神社(へいせんじはくさんじんじゃ)、美濃の長滝白山神社(ながたきはくさんじんじゃ)を「三馬場」といいます。白山神社の御神体は「白山」そのもので、山頂には「奥宮(おくみや)」という社殿があります。

#### 禅定道(ぜんじょうどう)とは？



↑ 御神体の御前峰と室堂の祈祷殿(きとうでん)



↑ 長滝白山神社(ながたきはくさんじんじゃ)

禅定道は白山に登るための道のことで、その途中には修行のための祠(ほこら)や宿泊所などがあつたそうです。三馬場を出発地点として、「加賀禅定道(かがぜんじょうどう)」、「越前禅定道(えちぜんぜんじょうどう)」、「美濃禅定道(みのぜんじょうどう)」がよく知られています。その他にも大笠山(おおがさやま)を通る禅定道など、まだ、そのルートがわかっていないものもあるようです。

昔の人は皆、この禅定道を歩いて、白山の山頂を目指したのです。

#### 三馬場を訪れてみませんか？

三馬場の神社は現在でも多くの人々が参拝に訪れる場所であり、観光としても気軽に訪れることができます。どの神社も古来からの厳かな風格があります。

三馬場すべての神社をお参りして、いにしへの白山信仰に思いをはせてはどうでしょう？

#### 白山信仰の道を登ってみませんか？

禅定道の一部は今でも登山道として使われています。昔の人が白山を目指して登った信仰の道を踏みしめ、山頂を目指してみませんか？(上級者向きのコースもあるので、十分な下準備を！)

##### ● 加賀禅定道

一里野高原(いちりのこうげん)から加賀禅定道で御前峰に登る(上級者向き)

##### ● 越前禅定道

平泉寺白山神社または法恩寺林道から法恩寺山(ほうおんじさん)へ登る

小原林道から小原峠(おはらとうげ)(赤兎山(あかうさぎやま)or大長山(おおちょうさん)市ノ瀬(いちのせ)から慶松平(けいまつだいら)を經由して観光新道で御前峰に登る

##### ● 美濃禅定道

石徹白(いとしろ)から銚子ヶ峰(ちょうしがみね)、別山(べっさん)を經由して、トンビ岩コースで御前峰に登る

※ 全行程の縦走は上級者向き